

地域一体となった対策の推進

飼養衛生管理基準の遵守



本病に関する知識の普及・啓発、
関係機関・団体の連携、情報共有

予防接種の励行



BVDVの感染予防及び
PI牛の産出リスク低減

スクリーニング検査

- バルク乳検査
- スポットテスト 等

陰性

陽性

病性鑑定等による摘発



【PI牛】

自主的
とう汰

清浄性維持・確認のための検査

- バルク乳検査（乳用牛）
- スポットテスト（主に肉用牛）
- 導入牛検査（妊娠牛の場合、分娩子牛の検査を含む。） 等

全頭抗原検査

（RT-PCR、ウイルス分離又は抗原検出ELISA）

* 陽性牛については、少なくとも3週間の間隔をあけて2回目の抗原検査を実施

陰性

1回だけ陽性
→PI牛存在せず
（一過性感染）

2回とも陽性
→【PI牛の摘発】
（※）

自主的
とう汰

当該農場の
新生子牛の抗原検査

原則として、PI牛の自主的とう汰以降
10か月間に産まれた新生子牛が対象

陰性

2回とも陽性
→【PI牛の摘発】
（※）

自主的
とう汰

当該農場の
新生子牛の抗原検査

自主的
とう汰

清浄性維持・確認のための検査

- バルク乳検査（乳用牛）
- スポットテスト（主に肉用牛）
- 導入牛検査（妊娠牛の場合、分娩子牛の検査を含む。） 等

陰性

2回とも陽性
→【PI牛の摘発】
（※）

※ 2回の抗原検査（RT-PCR、ウイルス分離又は抗原検出ELISA）を実施し、判定する。